

内の信用制度を破壊し、金融恐慌の爆發とならざるを得ない。

この危機——日本資本主義のこの困難から切抜け得んがためには、ブルジョアジーはプロレタリアートに對する新たなる種々の攻撃、何よりも物價的、公債發行、關稅の増徴、支那分割戰爭の擴大、階級戦線に對するファッショ的攻撃の政策を必要とした。大資本内閣は實にこれらの政策的遂行者として出現したのである。

金本位制を停止することなくしては物價を釣り上げることは出来ない。公債を發行することは出来ない。豊富なる金の保有なくしては戰爭を遂行することは出来ない。しかしそれだけでは尙不十分だ。公然と關稅を引上げ、租稅を増徴し、侵略戰爭を擴大し、プロレタリアートに彈壓を下すことなしには、彼等の欲する危機の切抜けは困難だ。従つて新内閣は金輸出を禁止すると共に、より兇暴なファッショト支配の遂行者でなければならなかつた。且又ブルジョアト支那の困難は他の方面にもあつた。それは國家の財政的危機である。ブルジョア國家の財政を脅かすものはその半を占めるところの膨大な軍事警察費である。殊に滿洲、上海の戰爭に費した一億九千万圓の巨大な戰爭費は日本國家の財政的危機をして益々破綻に近づけしむるにちがひない。

戰爭の擴大を行つた。更に彼等はプロレタリアート彈壓の最も危険なる方法として、國家社會主義の毒素をふりまくることによつて階級戦線の分裂擾亂を企てゐる。

凡そかくの如きが恐慌の新たなる段階に入つたところのブルジョア日本の様相である。

彼等は既に一切の偽善的假面をかなくなり捨て、公然たるファッショ的武裝をもつて危機を切抜けんとしてゐる。その必然的結果として一九三二年(十一月末)の勞働争議は社會局調査の數字によるも二千十四件(前年に比し二二%増)、十三萬三千八百三十六人(一萬三千人減)を數へ、闘争がいかに廣範圍にわたつてゐるかを示してゐる。我々はその中に勞働者大衆の最大の闘争力をもつて闘はれた幾多の争議、筑豊炭田、住友製鋼、牟田争議、更に多木肥料、北中皮袋等々の争議を數へることが出来る。其他テ一闘争に勇敢に闘はれてゐることを聞くのである。昨年の小作争議は千七百九十四件、人員は二萬六百人、數に於てこそ前年に比して若干減つてゐるが、その要求に於て、闘争の形態に於て非常な質的變化を示して居り、土地のための決定的な闘争の方向への進展を示してゐる。福岡、栃木、富山の梨、新潟、秋田、長野、千葉、宮城、北海道等、闘争の波は著るしく高まりつゝある。かくてストライキの嵐は全國の工場農村を襲つてゐるのだ。

かくてブルジョア陣營のファッショ的編組は益々緊急なものとなつた。協力内閣運動はその一現象である。しかしながら大資本は尙頑固主義的假面を保ちつゝ、眞實はファッショト支配の遂行者として單に内閣を組織した。かくて正に豫定通り内閣が金輸出再禁止を斷行した。物價は急激に騰し、圓價は急激に下落した。一切の商品は一齊に二割乃至三割騰貴したのである。このことは勞働者の實質賃銀が二割乃至三割引下げられたことを意味する。それでなくとも過去二ヶ年間に續いた恐慌、賃下、臨休、操縦、失業者數の増大等々、所謂産業合理化の犠牲となつて勞働階級は最も悲惨な状態に追ひやられてゐるのだ。ブルジョア級のこの新たなる攻撃が階級戦線にとつて何を意味するジューのこの新たなる攻撃が階級戦線にとつて何を意味するかは言ふまでもない。更に農民はどうか? 既に一昨年には於て農民恐慌は急激に悪化し、農産物價格の暴落は、收穫の過半を占めるところの物納地代制度と相俟つて農民の生活に於ける恐慌はもはや凶作、飢饉にまで深刻化してしまつた。東北、北海道に於ける凶作凶饉は明らかに農業者恐慌の産物であつて、ブルジョアジーの宣傳する如き大候のみの罪惡でないことは既に一般に理解されてゐる。ファッショト支配の遂行者としての大資本内閣は更に巨額な公債の發行を計畫してゐる。又大資本内閣は支那に於ける

しかも階級陣營は組織された勞働者の數は絕對に大きいと言ふことは出来ない。恐らく五百万の勞働者の中組勞働者はその一割を出でないであらう。我々は日本に於ける河動の歴史の若さと、日本資本主義の特殊事情を考へざるを得ないが、しかも尙英國の四百五十萬、ドイツの七百萬、支那の二百五十萬等々に比し餘りに貧弱だと言はざるを得ない。ブルジョアジーの經濟的破局を前にしてこの弱少は日本プロレタリアートにとつて最大の弱みである。しかもこの偉かな組織勞働者が又實に無数の勢力に分裂してゐるのを見なければならぬ。こゝに我々は完全なる支配階級のスパイ政策を見るのである。

我々はこの巧妙極まりなき支配階級の分裂政策を警戒すると同時に、我々は尙組織の階級性を批判することを忘れてはならない。先づ我々は右翼協調主義の方針に賛成することは出来ない。恐慌の深化と階級對立の尖锐化せる今日協調主義は結局賣渡主義を意味する外はないであらう。事實彼等は既に公然と罷業權を放棄した。しかしながら資本主義の急速なる没落と、それに伴ふ大衆の左翼化は必然に彼等の組織を動搖せしめつゝあるが、一部幹部は益々反つて反動化し露骨に社會ファッショとして役目に忠實ならんとしてゐる。更に我々はかの非合法を誇稱するところの全國協議會の運動にも同意することは